

体験コーナー進行例

高校

地域教育推進ネットワーク東京都協議会 防災教育プロジェクト

コーナー	身近なものが防災グッズに	
目標	身近なものから防災に役立つものを作れることを知ってもらう。同時に防災に対して興味や関心を持ってもらえるようにする。	
スタッフ数	2名～	
準備物	防災グッズ(100円ショップで購入できるもの)、新聞紙、ラップ、作り方の図 コップを1つ作っておき、ラップをかけて麦茶か水を入れ、影に隠しておく。	
会場 平面図	教室で2つのコーナーを設置 ・机を4つつけて、防災グッズを並べ、上に新聞紙か布をかけて隠しておく。 ・机を人数分、並べて、新聞紙と作り方を置いておく。	
進行	2分	自己紹介 コーナー内容の説明
	8分	防災グッズの机の周りに集まる。 どのようなものがあるか聞きながら、新聞紙か布をはずす。 生徒たちに質問や意見を出してもらいながら、1つずつ紹介する。 もしくは、どのように使うことができるか、考えてもらう。
	10分	机の前に座る。 新聞紙を使って、コップとスリッパを作る。 作り方の図を見せながら、実際の手順を一つ一つ一緒に行う。 コップができたら、隠しておいた水を入れたコップを見せる。
進行上の 注意	一方的に説明するのではなく、考えることを大切にする。	

100円ショップで購入できる防災グッズ例

懐中電灯、レインコート、歯磨きセット、水、小銭、ホイッスル、バンダナ、軍手、ポリ袋、ラップ、レジ袋、ウェットティッシュ、マジック、ガムテープ、紐、下着、缶詰など

HP「地震ITSUMO」の「地震イツモキット 防災グッズ」のページを見せながら説明することもできる

<http://www.jishin-itsumo.com/>

